

町の「社会資本総合整備計画」(まちなか再生事業) 総額 18 億 3600 万円 町負担約 11 億円!

問題点が山ほど

町のニュースレター No.1 No.2 に見る疑問や問題点

1 町民にとっては寝耳に水、あまりに性急な計画です。

計画のあらましが発表されたのは 12 月末。町民に計画の一部が知らされたのは 2 月上旬の「ニュースレター第 1 号」でした。(内容を記載した第 2 号は 2 月 20 日配布)

町民には直接説明する機会も持たず、議会で十分審議することなく、様々な不安や疑問に答えることもせず、3 月末までに計画を作るというのです。

意見を募集するといいますが、それらの意見はどのように計画に反映されるのでしょうか。それらは町民に示され、議論の場がもたれるのでしょうか。

町民を外に置いた、このような拙速な計画のつくりかたはすべきではありません。

2 町づくりは基本から住民参加で進めるべきです。

町民がのぞむ町づくりには町民参加が欠かせません。計画の骨子をつくってから意見を聞くというのは順序が逆です。町民の中で、町の計画をしっかりと議論し、専門家の意見も聞きながら案をねりあげ、その上で使える国の補助金を申請するというのがスジです。ニュースではこのことには一言も触れていません。

町は、この計画をいったん先送りし、住民の代表、希望者、専門家などを含めた委員会、ワークショップなどで計画を練り上げることが必要です。

3 交流センター建設で「人の流れ」が本当にできるのでしょうか?

ニュースでは、町はアップランド跡地に「地域交流センター」を建てて「人の流れ」を作ると言っていますが、公民館の平成 23 年度年間利用者数は 11,140 人で、多目的研修センター (14,783 人)、創造館 (12,282 人) よりも少なく、「にぎわい」の中心になりえないことは明らかです。町なかの「にぎわい」は町民の買い物の場(商業施設)を作ることによって生み出されるのです。

4 福社会館、創造館などは今後どうするのですか?

町は交流センターの一部として 400 席のホールをつくるとしています。それでは創造館のホールはどう利用するのでしょうか。

公民館の建て替えが必要なら、当面、現在町が持っている福社会館、多目的ホール、創造館を利用する方法も検討されてしかるべきです。交流センターをつくったけれど、その他の施設は利用もされず、赤字ばかりが増えるというのでは困ります。ニュースはこの疑問にもこたえていません。

既存の施設をどうするのかについて、見通しも持たずに同じような施設をつくることは避けなければなりません。

買い物に行けないお年寄りはどうするの?



5 町民の声やアンケート結果に本当に答えた計画なのでしょうか?

町が昨年行ったアンケートでは、中心街を魅力的にするには、空き店舗対策や商店街の活気、買い物弱者対策などが必要であるとこたえ、公民館の整備はわずか 10% にすぎません(表 2)。

町は、こうしたアンケート結果にもかかわらず、町の課題は「人の流れ」「まちなかにぎわい」だとして、公民館の建て替えや道路整備などの計画(表 1)をつくらそうしているのです。これでは町民の願いに反する計画になってしまうではありませんか。

6 多額の借金が町の財政を大きく圧迫し、後世につけを残すのでは?

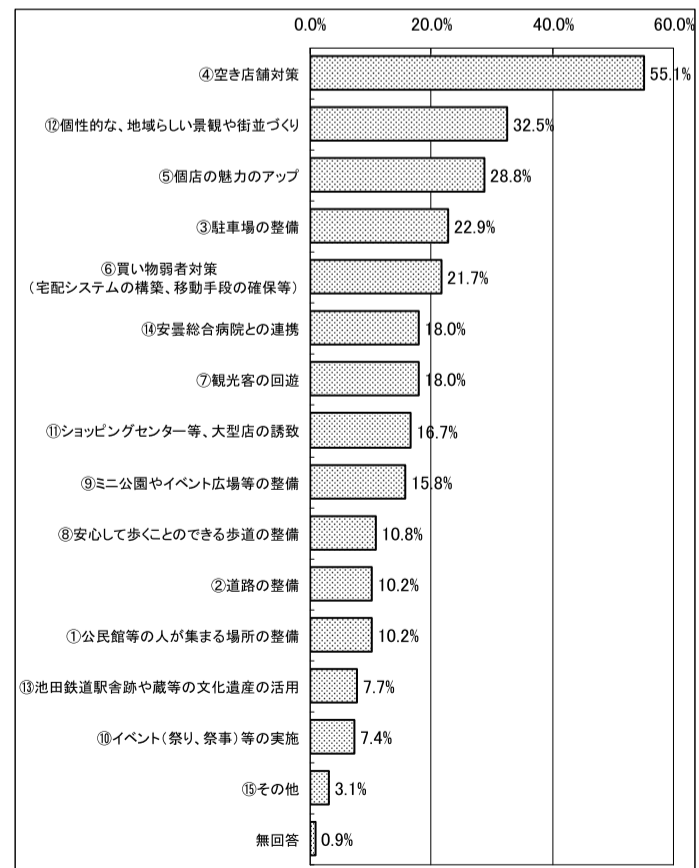
総額 18 億を上回る事業の 6 割、約 11 億円が町の負担(町民 1 人当たり 11 万円)。これは町民の税金です。

この計画の中心は、6 億 7 千万円の「交流センター」建設です。町の財政は多額の債務残高(特別会計を含めて 110 億円)を抱えており、これに多額の借金(町の説明では 6 億円)の返済が上乗せされることとなります。

< 表 1 > 計画の主な事業

地域交流センター(新公民館)	6億7000万円
道路整備(8カ所)	4億1400万円
若者定住住宅	1億6000万円
図書館整備	1億5000万円
総合体育館耐震化	1億2500万円
街路灯LED化	9000万円
	など

< 表 2 > アンケート結果
(「中心街を魅力的にしていこうための方策」)



資料 No.2 「町民アンケート結果」より